

平成 23 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社 積水工機製作所
代表者名 代表取締役社長 矢 澤 征 一
(コード番号 6487 大証第2部)
問合せ先 経営企画室長 湯川 浩次
TEL 072-858-1121

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 11 月 12 日に公表した連結業績予想および平成 22 年 8 月 6 日に公表した個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期通期業績予想の修正 (平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日)

(1) 連結

(単位：百万円未満切捨、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回(平成 22 年 11 月 12 日)発表予想 (A)	5,700	190	150	230	円 銭 24.79
今回修正予想 (B)	5,600	300	260	340	36.65
増 減 額 (B - A)	100	110	110	110	
増 減 率 (%)	1.8				
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	5,953	145	114	125	円 銭 13.54

(2) 個別

(単位：百万円未満切捨、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回(平成 22 年 8 月 6 日)発表予想 (A)	3,900	240	200	220	円 銭 23.71
今回修正予想 (B)	3,700	350	310	360	38.80
増 減 額 (B - A)	200	110	110	140	
増 減 率 (%)	5.1				
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	4,200	287	245	202	円 銭 21.85

2. 修正の理由

通期の連結業績につきましては、金型部門の主要顧客である自動車メーカー各社の新車開発計画は第2四半期以降徐々に増加しており、業績は回復に向かいつつありますが、販売価格の低下などにより、第3四半期累計期間の実績は計画を大幅に下回りました。産業機器部門は高機能フィルム・シート押出機関連設備の引合いが増加し、第4四半期の業績回復を見込んでいます。金型部門の損益改善のため、STPS活動によるコストダウンと徹底した経費の削減、国の助成金制度の活用などに努めていますが、通期の売上高、損益とも前回予想を下回る見込みであります。

個別業績につきましては、金型部門の需要回復の遅れと販売価格が低下したことにより、通期では前回予想を下回る見込みであります。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上